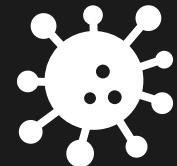


吐物處理



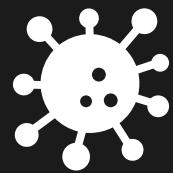


子どもが嘔吐したら・・・

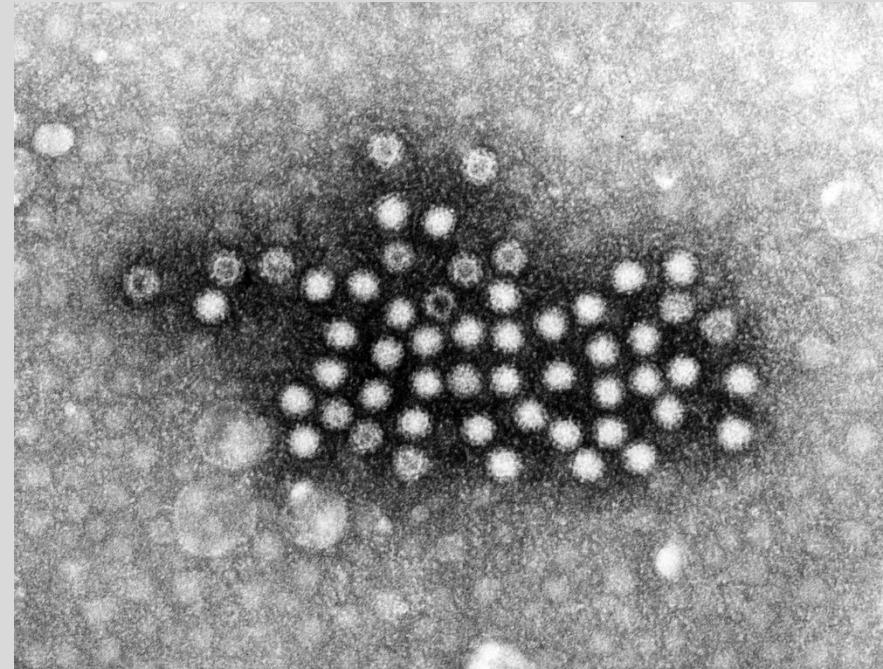
嘔吐を見たら、とりあえずノロを疑う！

- 吐物を消毒処理
- ノロウイルスは次亜塩素酸ナトリウムしか効かない
- 皮膚は洗い流す（流水と石けんによる手洗い）
- アルコール手指消毒剤の効果は期待できない





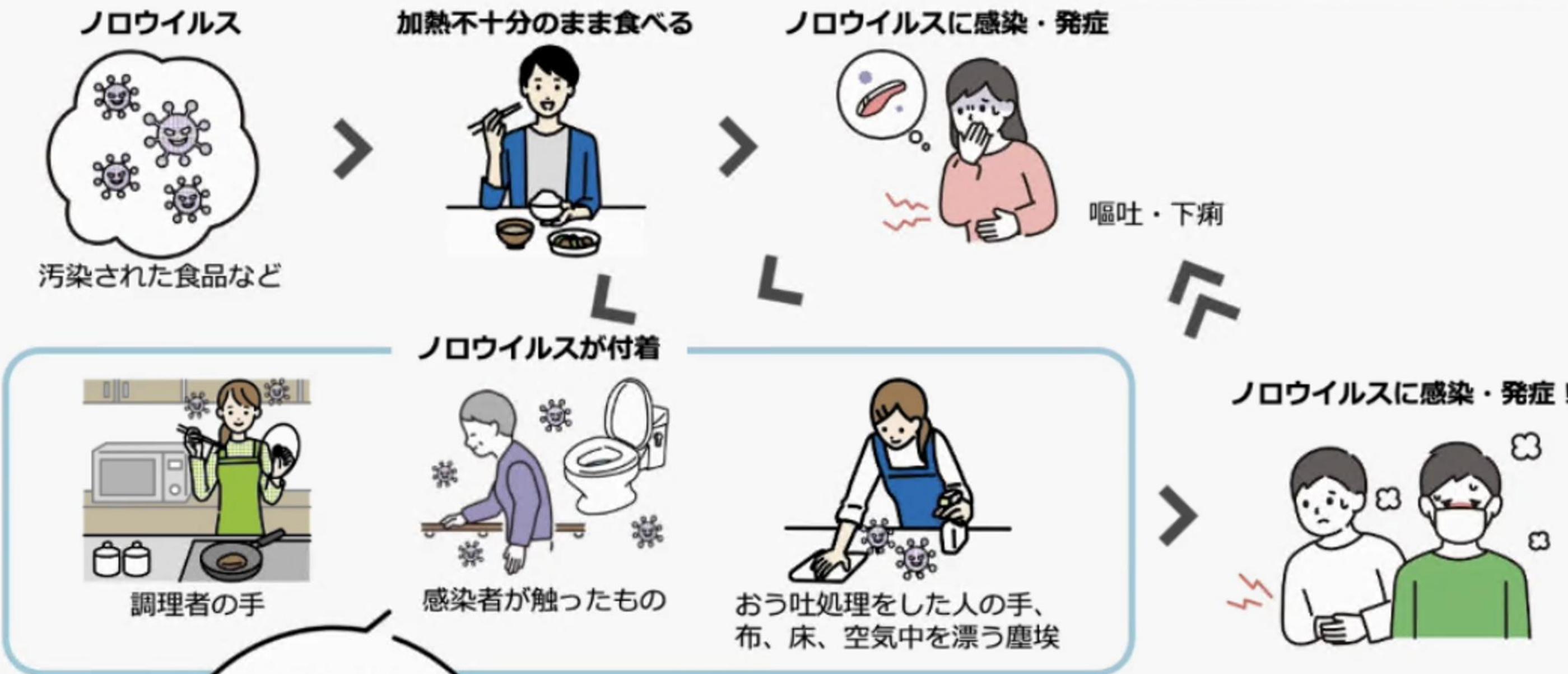
感染性胃腸炎（ノロウイルス）

病原体	ノロウイルス	 <p>ノロウイルスの電子顕微鏡写真（東京都健康安全研究センター、https://idsc.tmiph.metro.tg.jp/emi/noro/ より引用）</p>
潜伏期間	1~2 日	
感染経路	接触感染、経口（糞口）感染 嘔吐物等の不適切な処理で、エアロゾル化した吐物から感染	
症 状	嘔気／嘔吐、下痢、腹痛、発熱 <合併症>けいれん、肝炎、まれに脳症	
感染期間	症状のある時期がウイルス排泄期間のピーク 症状軽快後も長期間にわたりウイルスを排泄することがある	
治 療	対症療法（脱水に注意）	
＜参考＞ 登校基準	下痢、嘔吐症状が消失した後、 全身状態のよい者は登校（園）可能であるが、手洗いを励行する	



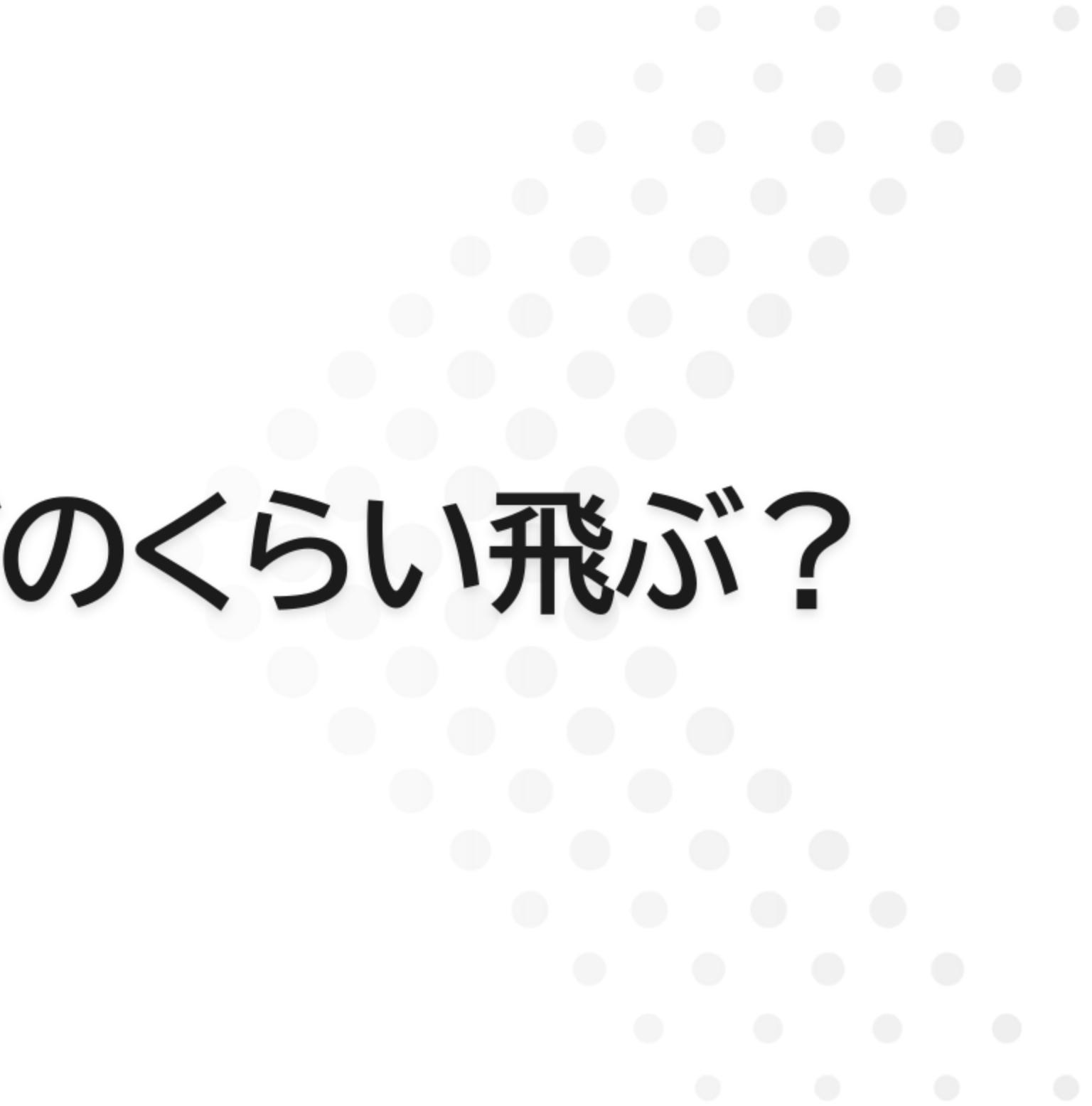
ノロウイルスの感染経路

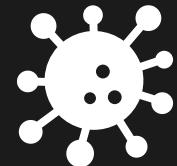
厚生労働省、「食品に関するリスクコミュニケーション」-ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう-ノロウイルスによる食中毒の現状と対策について、
国立医療品食品衛生研究所 野田 徹, <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku-11130500-Shokuhinzenzenbu/0000105662.pdf>
北海道立衛生研究所,ノロウイルスによる食中毒・感染症胃腸炎, <https://www.ich.pref.hokkaido.lg.jp/topics/norovirus1/norovirus1.html> をもとに作成



実演

吐物はどのくらい飛ぶ？





室内で嘔吐したら・・・

すばやく吐物を処理することが大切

- 半径2m程度に飛散
- 飛沫を浴びたり、吸い込んでも感染
- 消毒せずに掃除すると、さらに拡大
- 手洗いシンクや汚物処理槽周りの飛散
- 手袋、マスク、エプロンを着用して処理
- 着衣汚染に注意

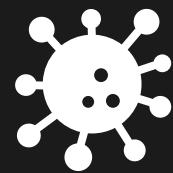
✓すぐに使い捨て手袋が取り出せる
ように準備しておきましょう。

✓吐物の飛び散っている不潔区域には、
嘔吐処理する職員以外は立ち入らない！

足の裏やひざ、手に注意！！



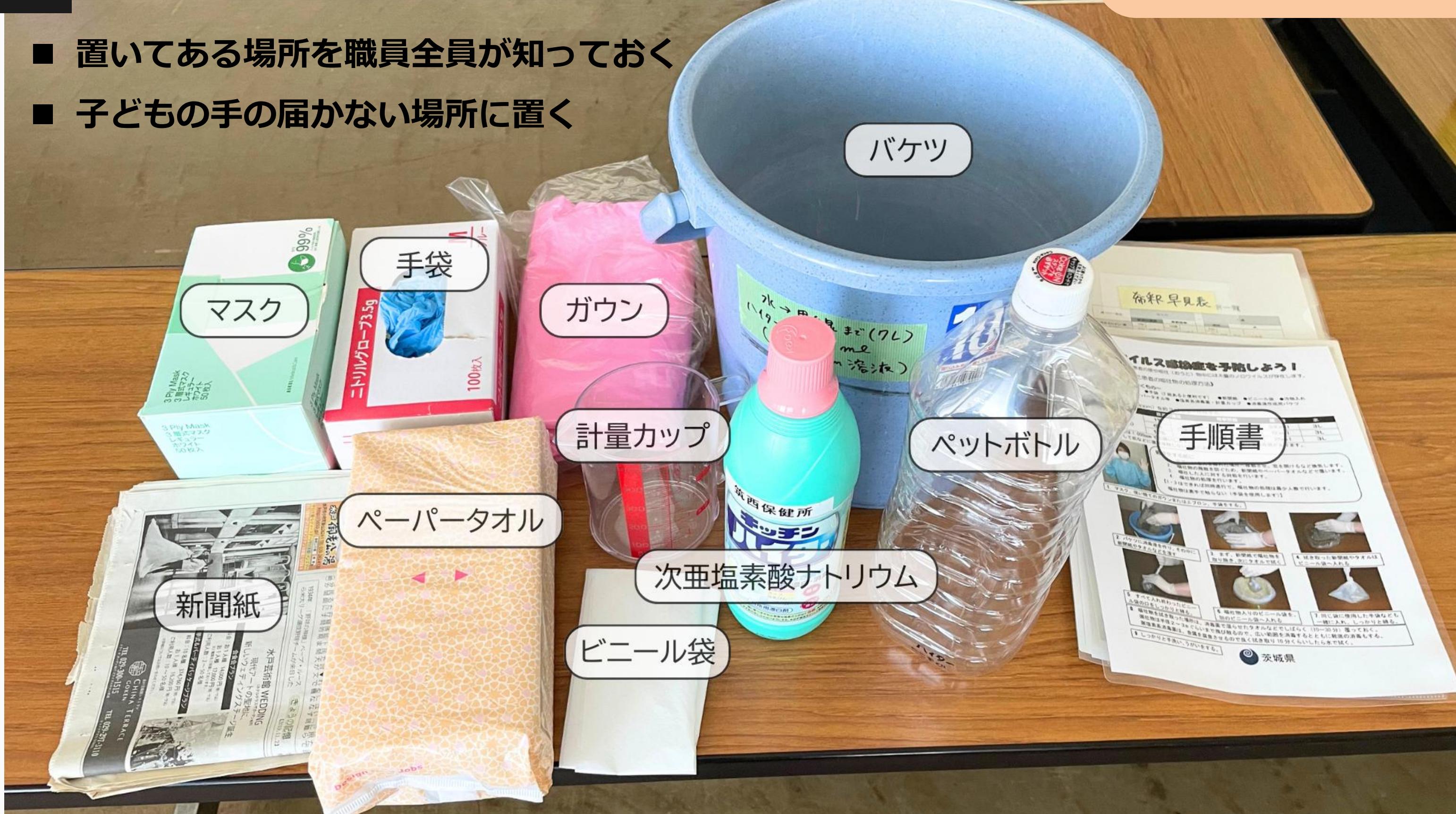
東京都健康安全研究センター「ノロウイルス対策緊急タスクフォース中間報告
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/news/presskenan071101.html>

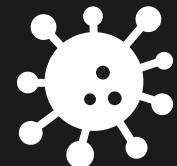


吐物処理セット

事前に準備しておく

- 置いてある場所を職員全員が知っておく
- 子どもの手の届かない場所に置く





吐物処理用の消毒液の作成

ハイター製造から3か月以内の場合

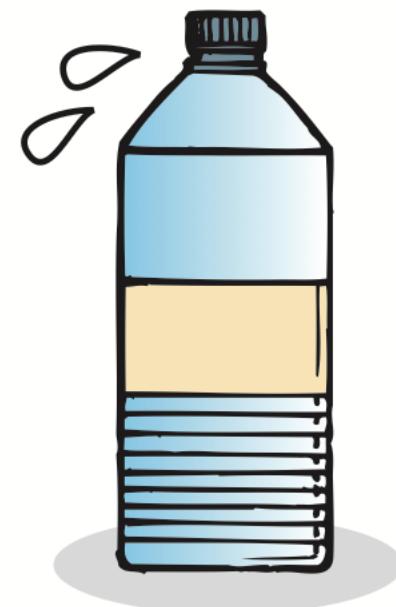
市販の塩素系消毒剤や漂白剤は、6%くらいの濃度（使用前に表示確認）です。空ペットボトル（2ℓ）などを用い、消毒液が簡単に作れます。

●0.02% (200ppm) 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

★ペットボトルのキャップ1杯は約5㎖です。

原液が6%の場合 ペットボトルキャップ2杯弱の原液を水で2ℓに希釀する。

→ 食器、衣類などの消毒に用いてください。
ただし、色落ちに注意してください。



●0.1% (1000ppm) 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

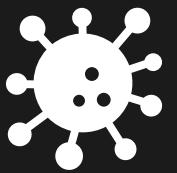
原液が6%の場合 ペットボトルキャップ8杯強の原液を水で2ℓに希釀する。

→ ふん便やおう吐物などの汚物を除去した後に用いてください。

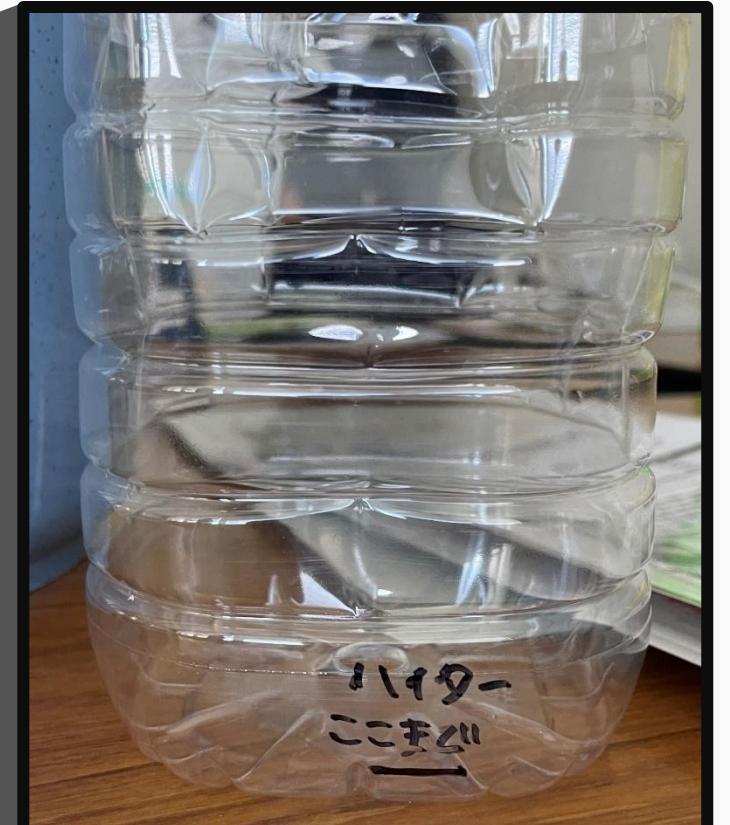
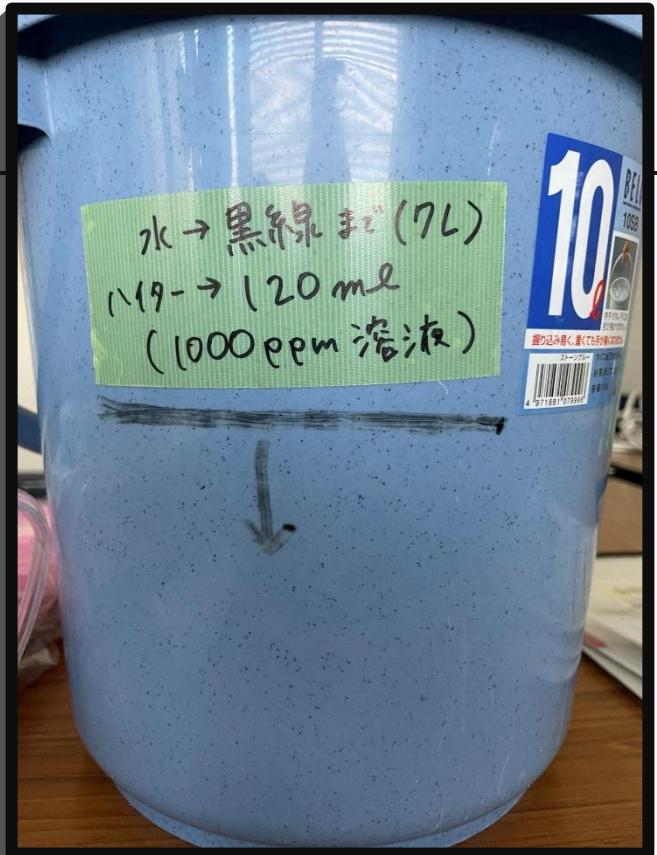
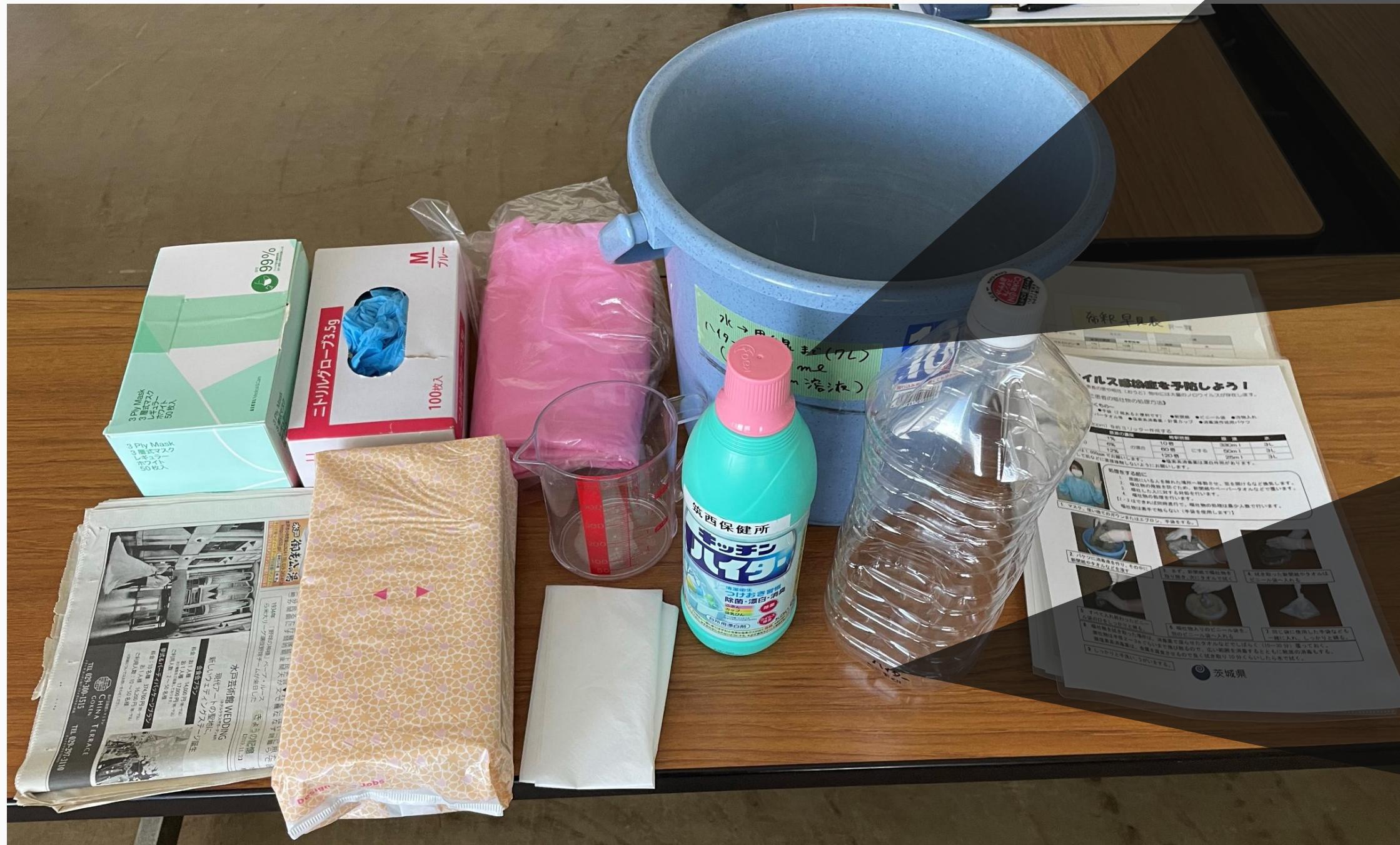
★消毒液を作る際は、手袋を着用してください。消毒液は冷暗所に保管し、子どもなどが触れないよう注意してください。

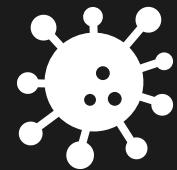
★時間が経つにつれ効果が薄れますので、使用するたびに調整して下さい。





吐物処理セット



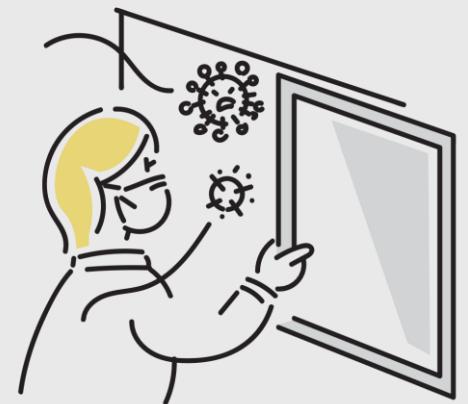


吐物処理時の注意点

処理時は換気を！

吐物等の処理時とその後は、

- 大きく窓を開けるなどして、室内に新鮮な空気を入れ**換気を行なう。**
(室内にウイルスを滞留させることのないように)
- 換気設備(換気扇等) がある場合には運転する。



洗えないものに吐物が付いたとき

- カーペットなどが嘔吐物で汚染された場合は、嘔吐物を処理した後、アイロンで加熱し**消毒**する。
- 熱消毒が可能な場合は、**85°Cを1分以上保つ。**
※ドライヤーは空気中に巻き上げるので使わない。



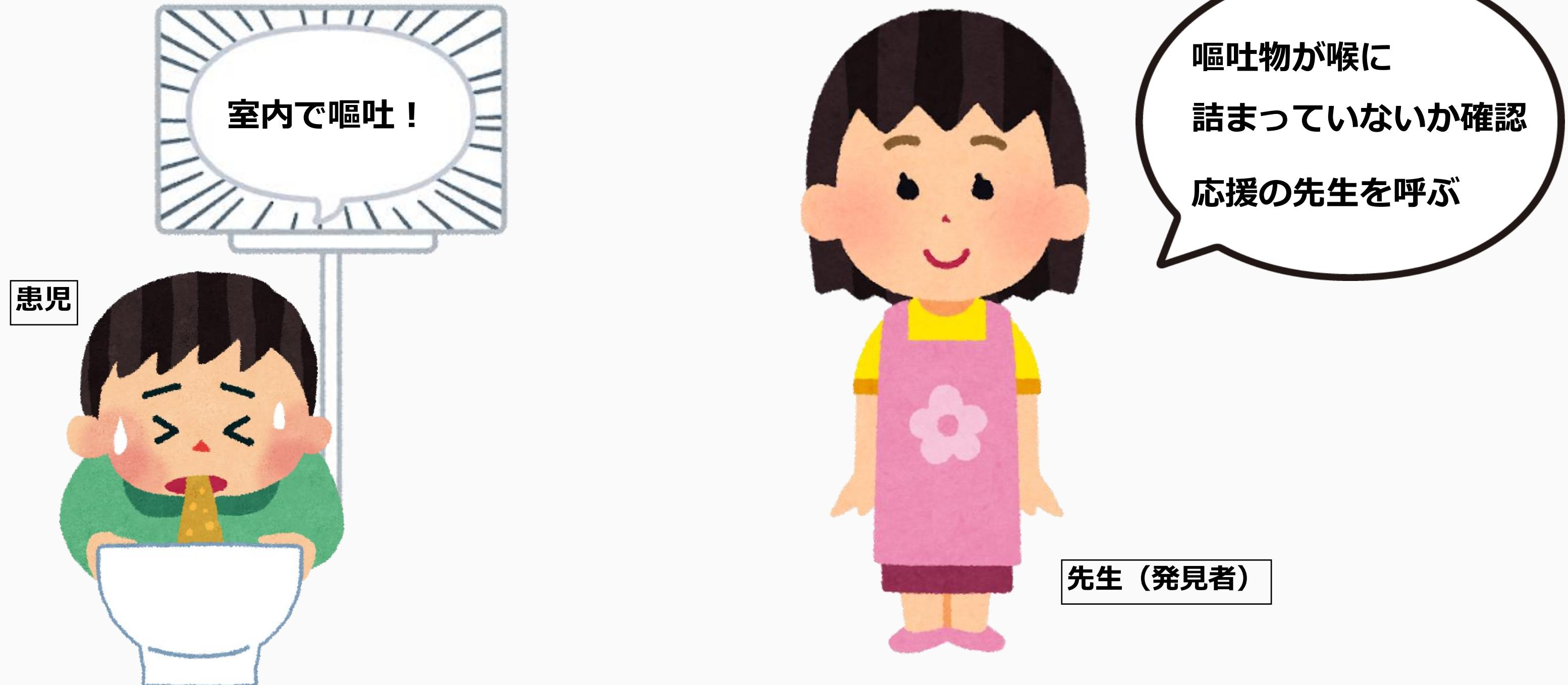
実践

吐物処理方法



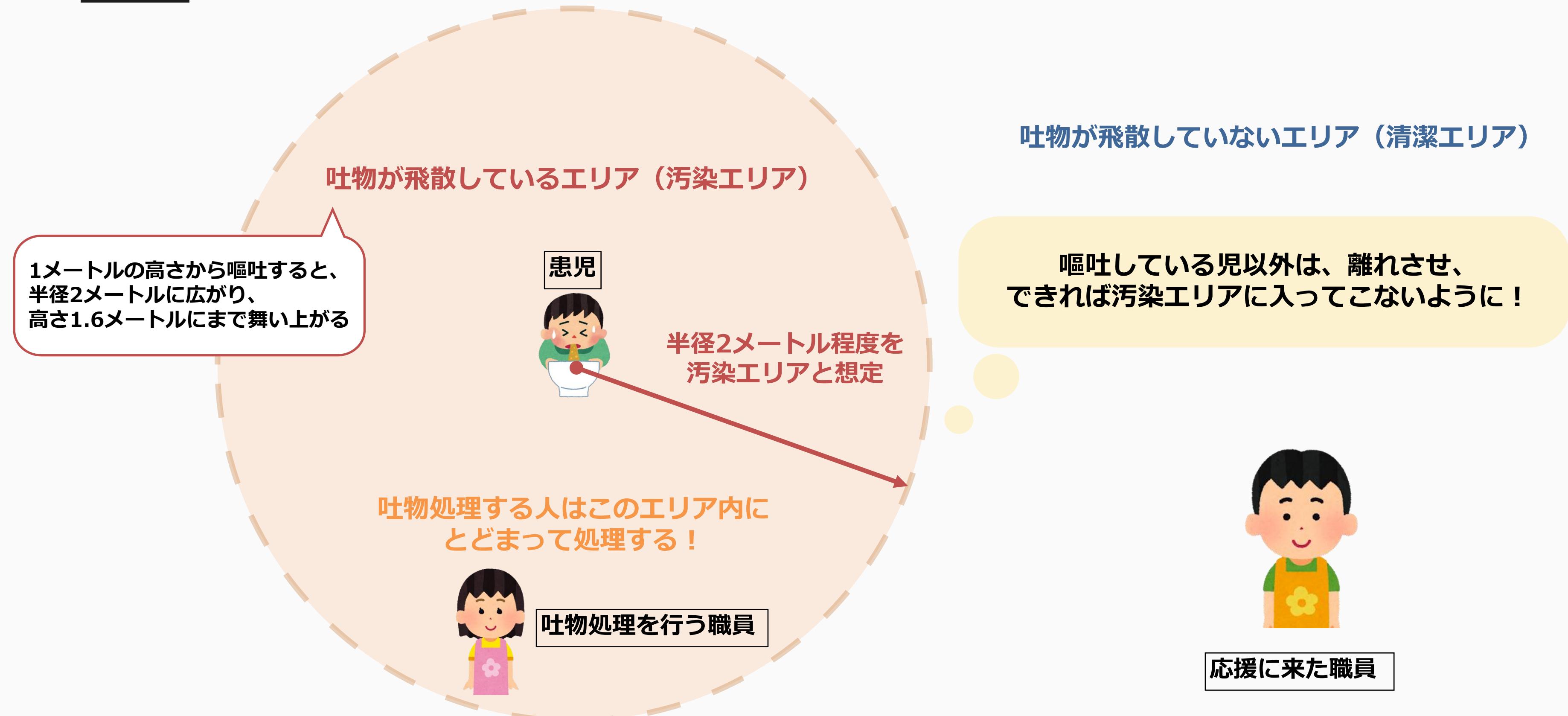
①

患児が嘔吐したら. . .



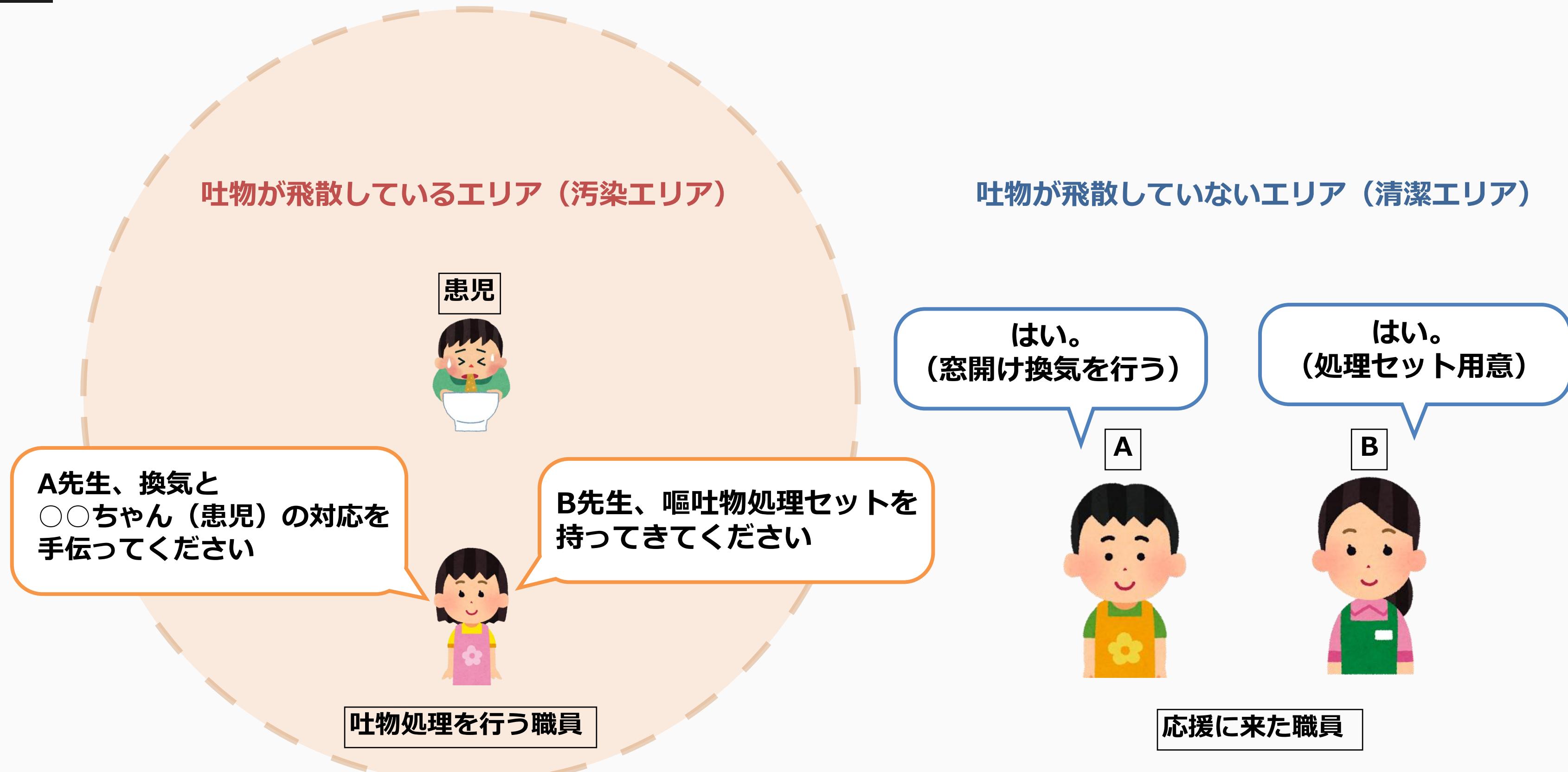
②

汚染/清潔エリアの区域分け



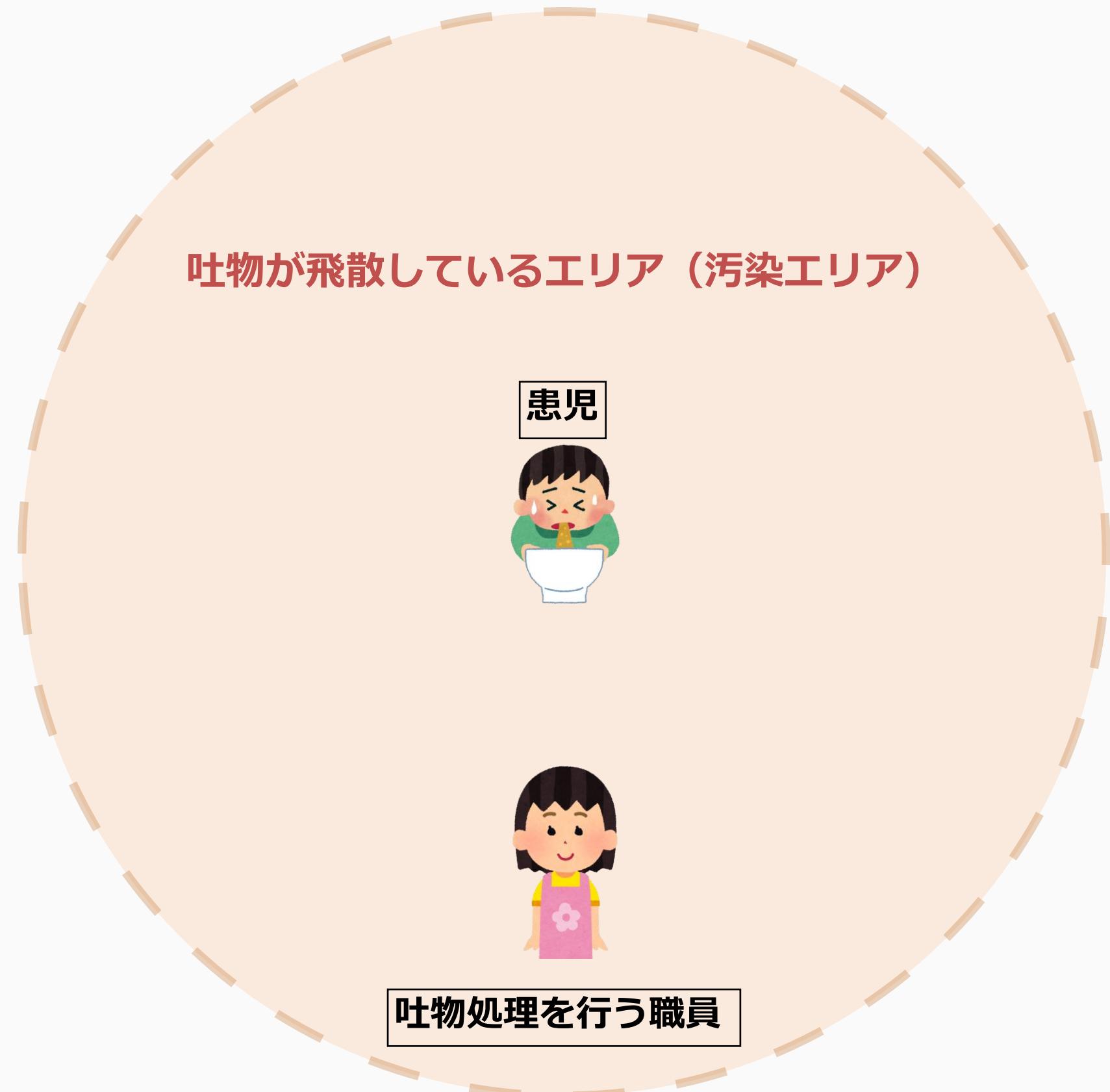
③

応援を呼ぶ・換気を行う



④

嘔吐物処理セットを持ってくる



吐物が飛散していないエリア (清潔エリア)



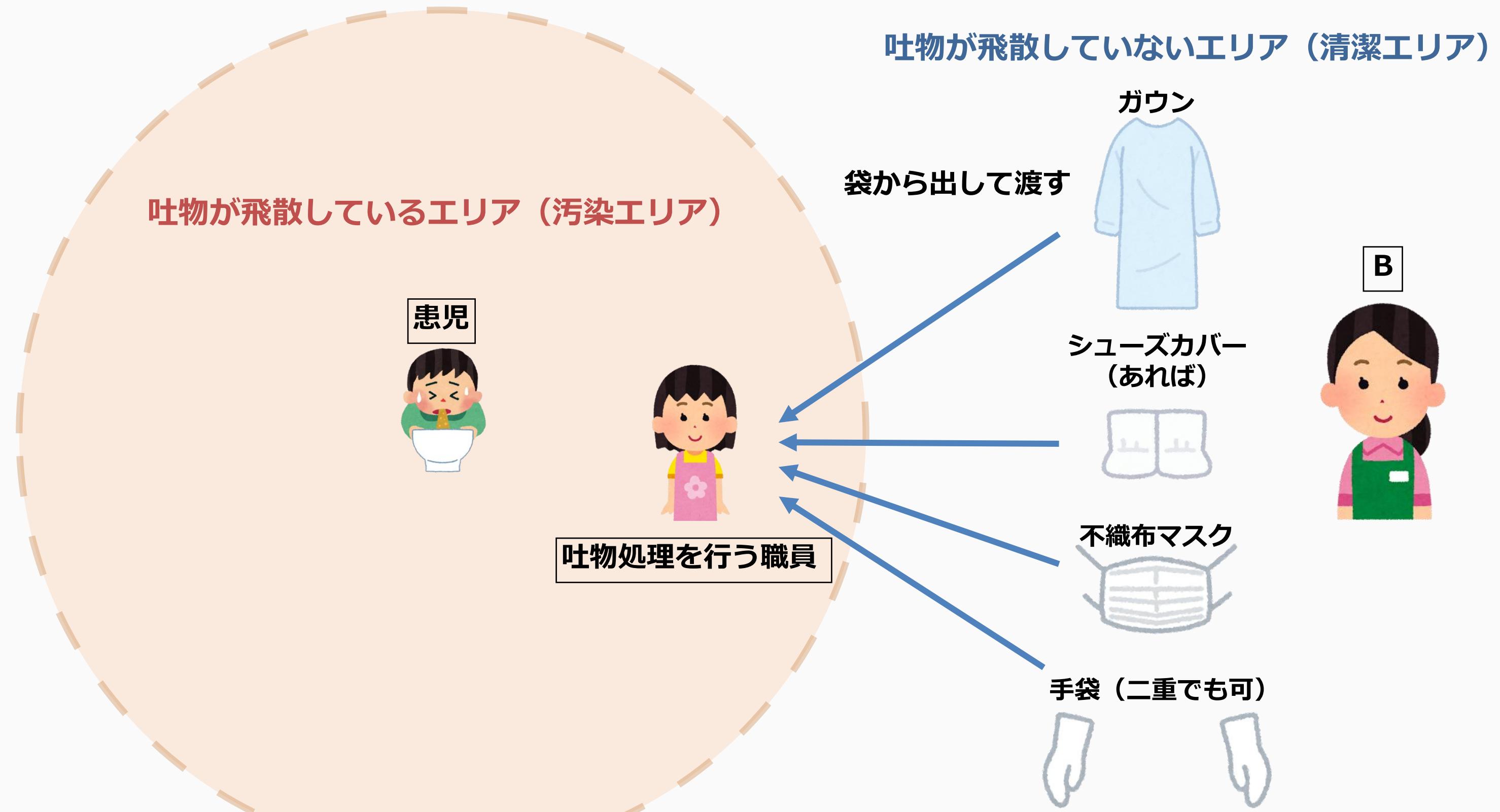
B



嘔吐物処理セットは、
吐物から離れた位置
(清潔エリア) に置く

⑤

吐物処理を行う職員に個人防護具を渡す



⑥

着用する個人防護具

吐物処理を行う職員



- マスク
- ガウン
- 二重手袋
- シユーズカバー

応援職員（汚染エリアには入らない）



- マスク
- ガウン／エプロン
- 手袋

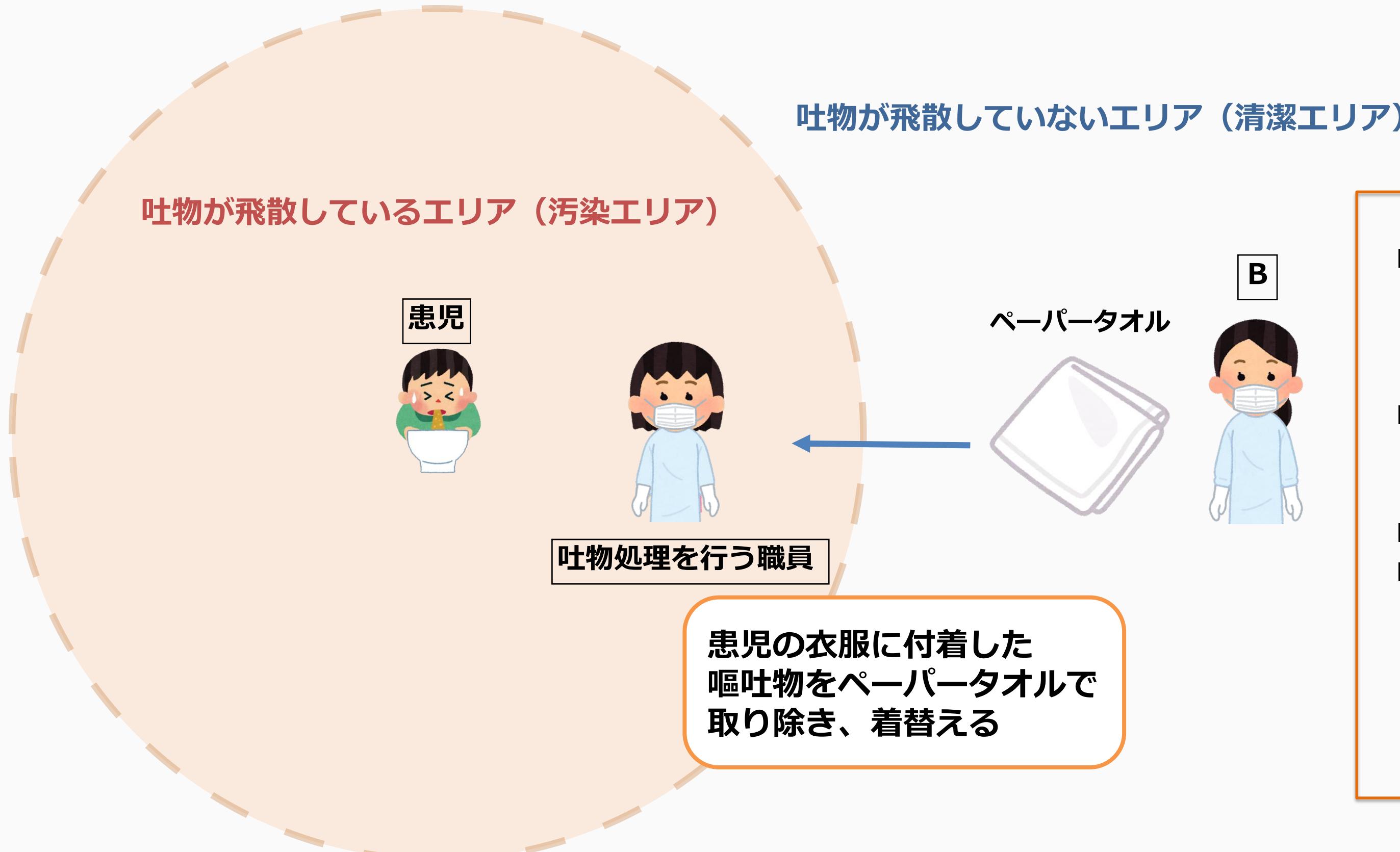
自分が感染しないために
感染を広げないために

⑦

吐物にペーパータオルや布、新聞紙をかぶせる

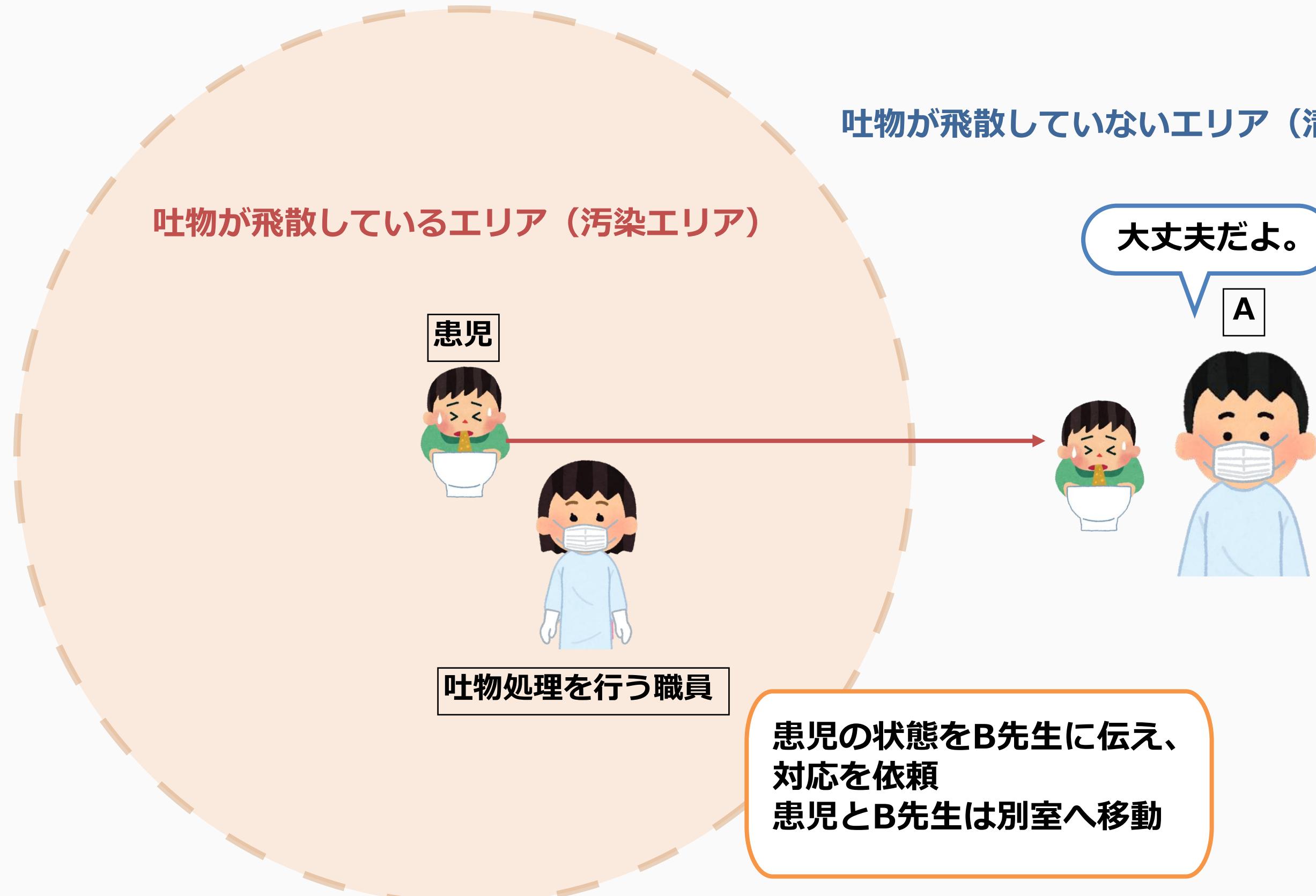
吐物処理を行う職員





- 汚染された衣服は、二重のビニール袋に密閉して家庭に返却。
(園では洗わない)
- 家庭での消毒方法等について保護者に伝える。
- 患児の靴底は汚れている。
- 患児が靴を履いたまま移動する場合、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませたタオルで靴底を拭くか踏ませる。

患児を別室へ



別室移動後の対応

- 可能な園児はうがいをさせる。
(できない場合は、口腔内の吐物を取り除く)
- 繰り返し嘔吐がないか様子を見る。
- 何をきっかけに嘔吐したか確認する。
(咳で吐いた、吐き気があったか等)
- 感染症が疑われる時は別室で安静にさせる。
(寝かせる場合は嘔吐物が気管に入らないように横向きにさせる) 等

⑩

物品の設置

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）



吐物処理を行う職員

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）



応援に来た職員



ゴミ箱は汚染エリアに
近い清潔エリアに置く

⑪

吐物のふき取り・ゴミ処理

吐物処理を行う職員



中心に新聞紙を寄せながら拭き取ります。

最初に、嘔吐物を取り除いておくことが、有効な消毒に必要！



吐物処理を行う職員に、0.1%次亜塩素酸ナトリウムが入っているペットボトルを渡す

応援に来た職員

ゴミ袋の空気は抜かずに閉じる！

吐物処理を行う職員

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）

外手袋も外して捨てる。

汚物をふきとった新聞紙等（ゴミ袋内）の消毒

⑫

床の消毒



先ほど「汚染エリア」と想定した範囲

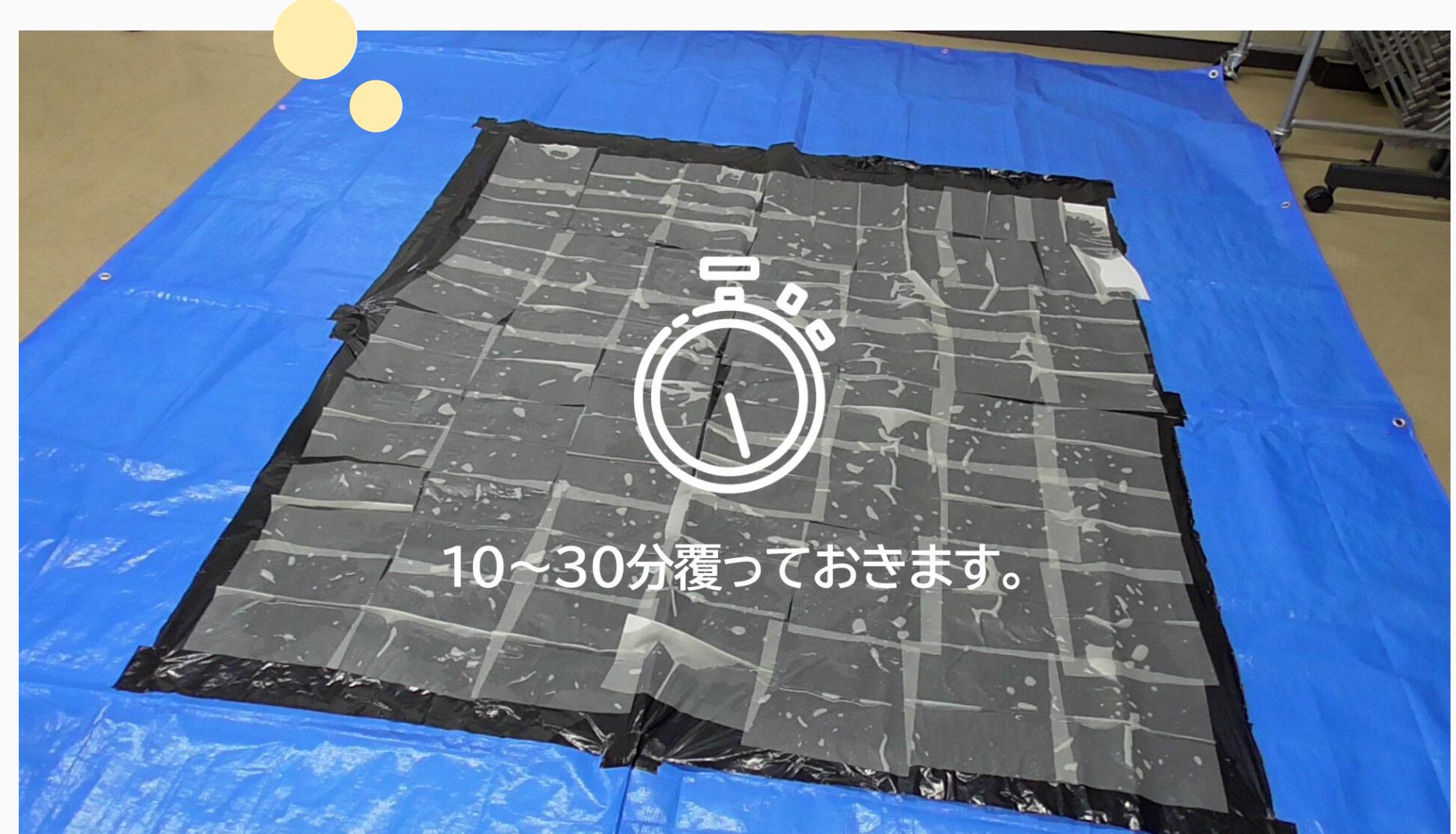


吐物処理を行う職員に、新聞紙やペーパータオル等を渡す。

応援に来た職員

消毒液をスプレーで吹きかけると、病原体が舞い上がり、感染の機会を増やしてしまうため、噴霧はしない。

ノロウイルスを不活化する
(感染性を失わせる) のに必要な時間です！



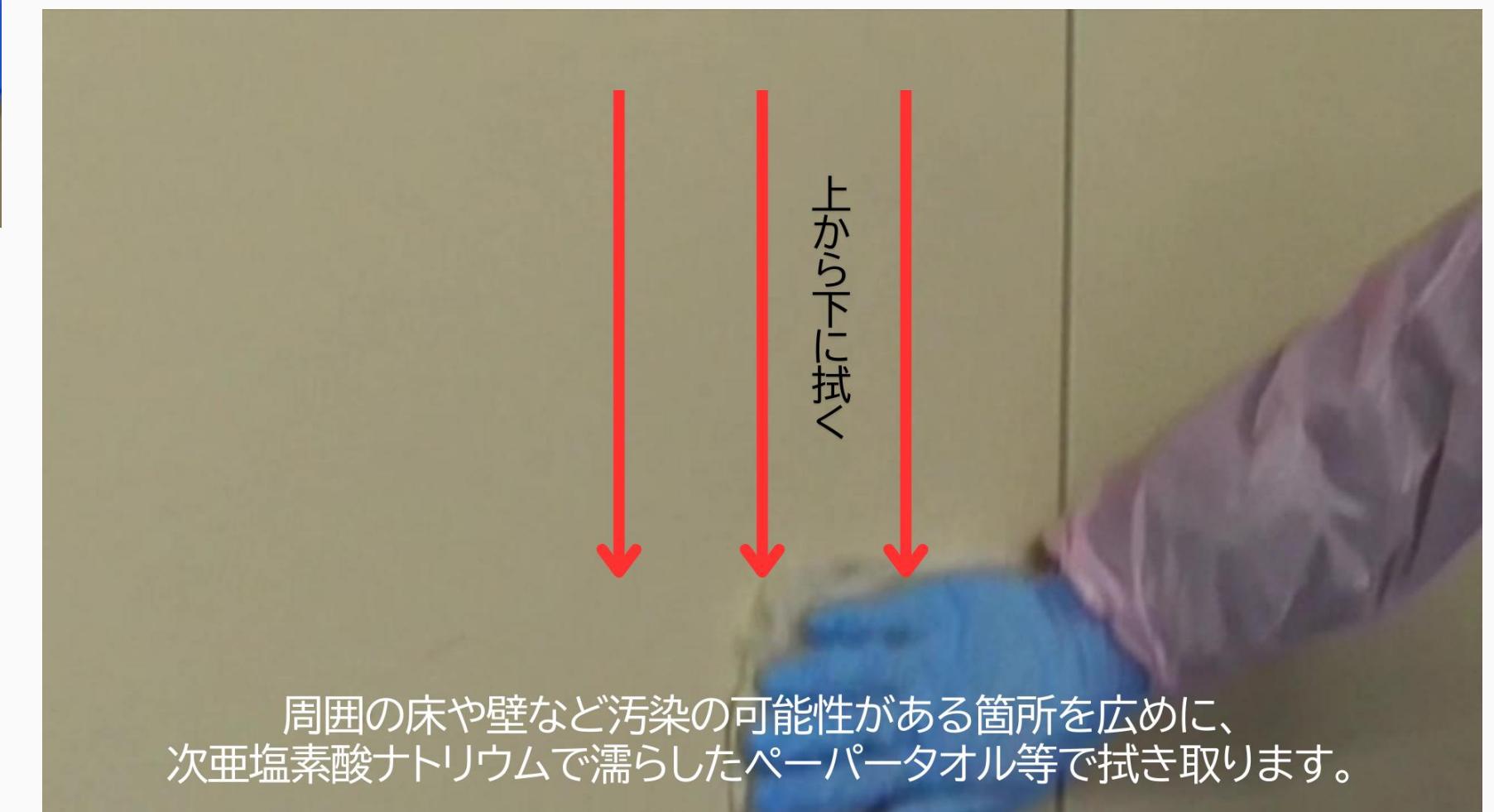
⑬

周囲の消毒



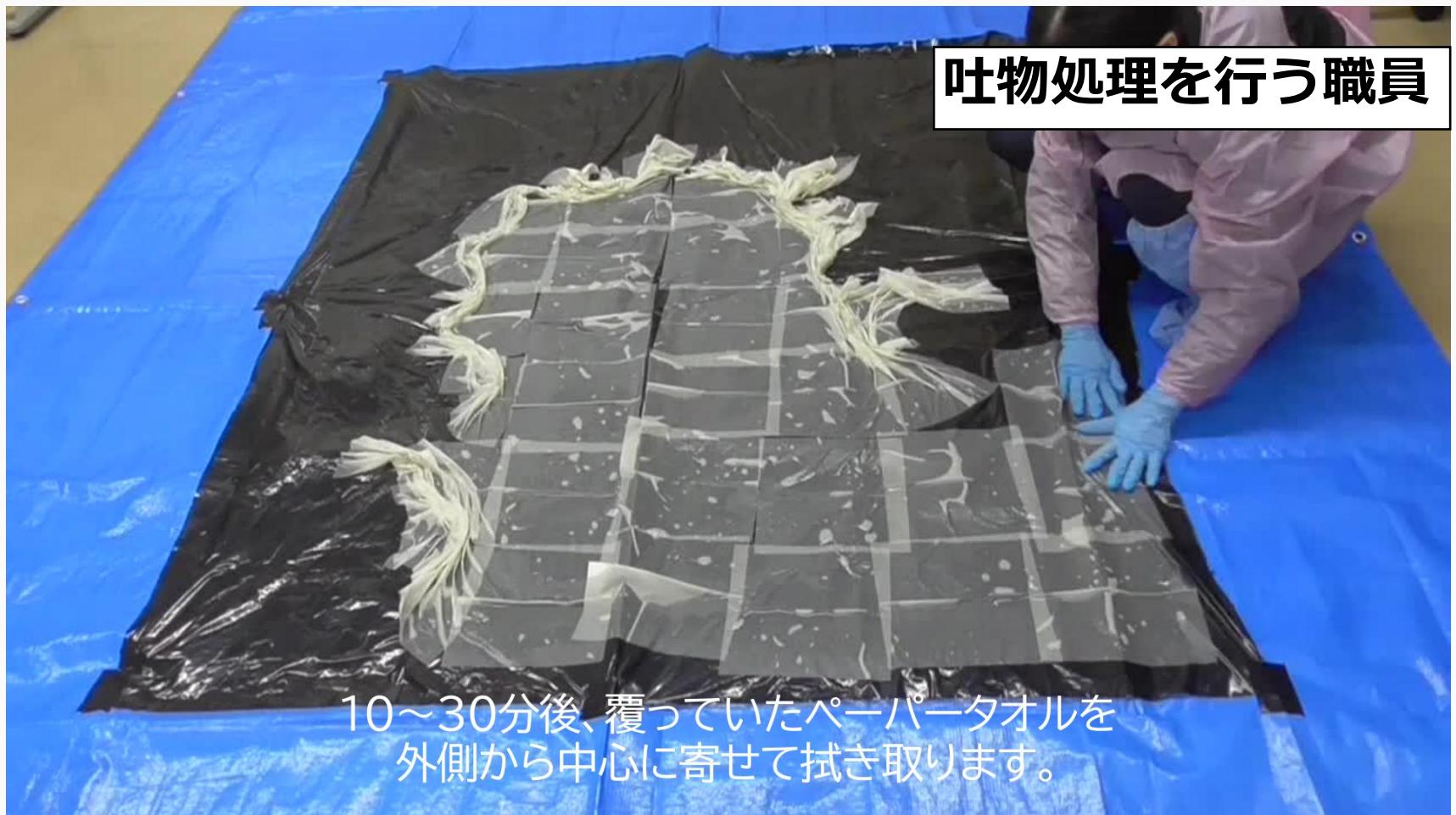
0.1%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませたペーパータオルやボロ布で、拭き取り面を折り込みながら吐物のあった周囲を静かに拭く

先ほど「汚染エリア」と想定した範囲



⑯

消毒液のふき取り



吐物処理を行う職員に、
ペーパータオルやボロ布等を渡す。

応援に来た職員

水拭きしないと変色・腐食のおそれあり



⑯

ゴミ処理



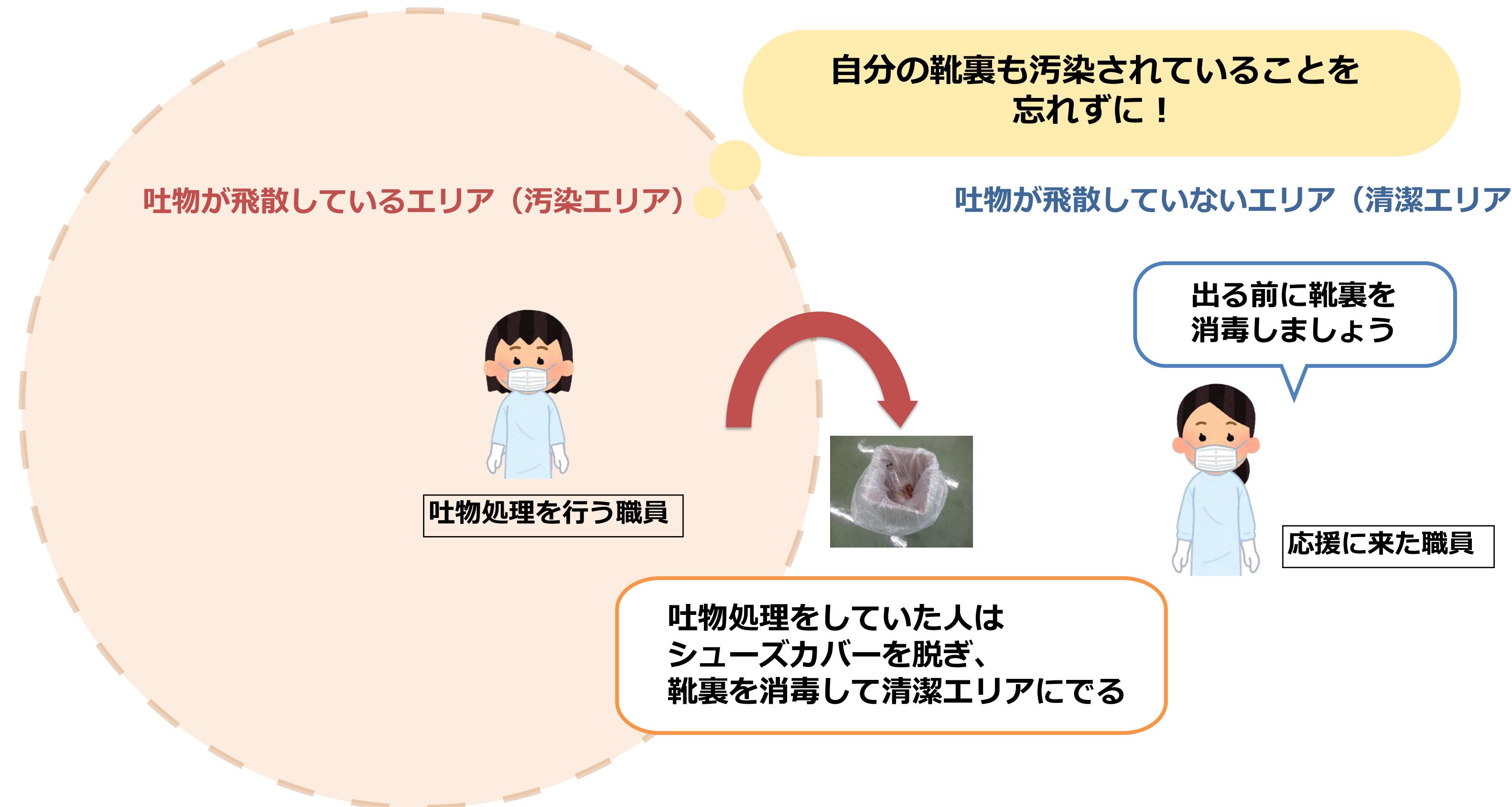
ゴミ袋に0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を新聞紙が浸る程度に入れる

吐物が飛散していないエリア (清潔エリア)

ペットボトルも捨てる。

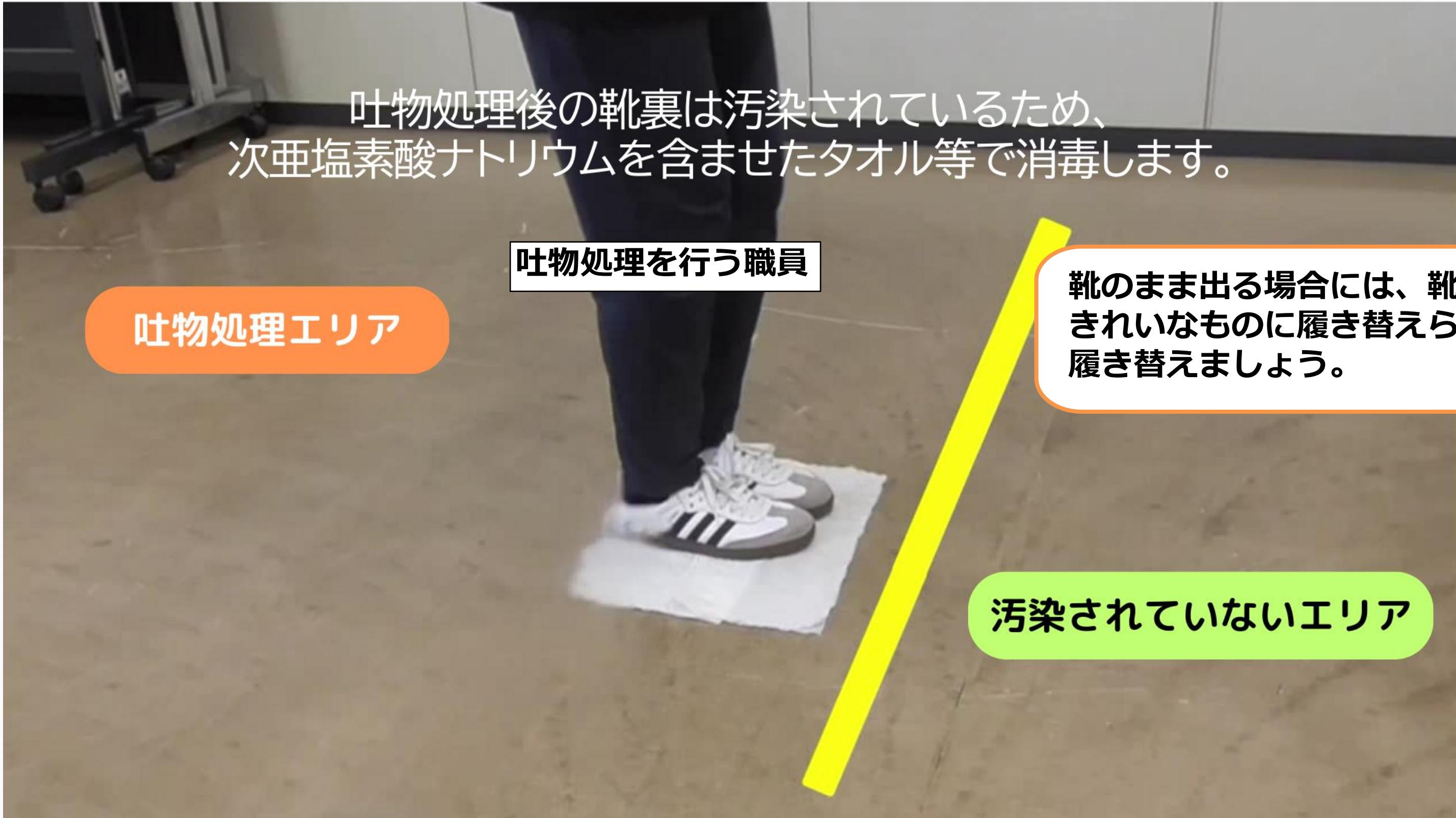
⑯

シューズカバーを脱ぎ、靴裏を消毒して汚染エリアから出る



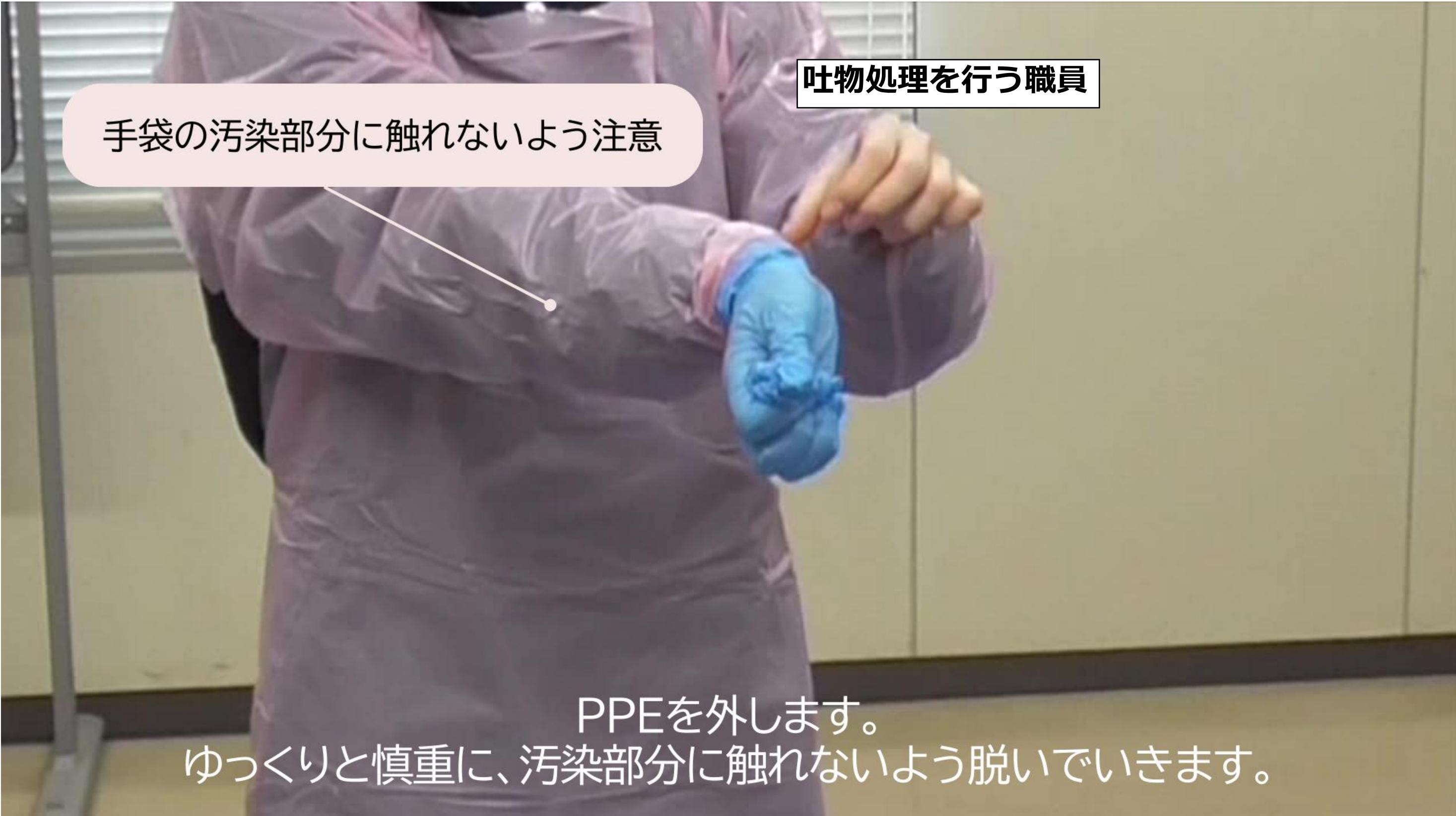
⑯

靴裏を消毒



⑯

手袋を脱ぐ



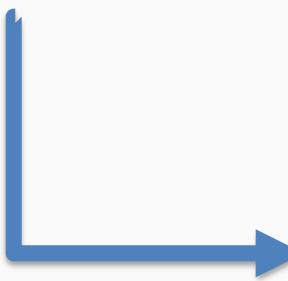
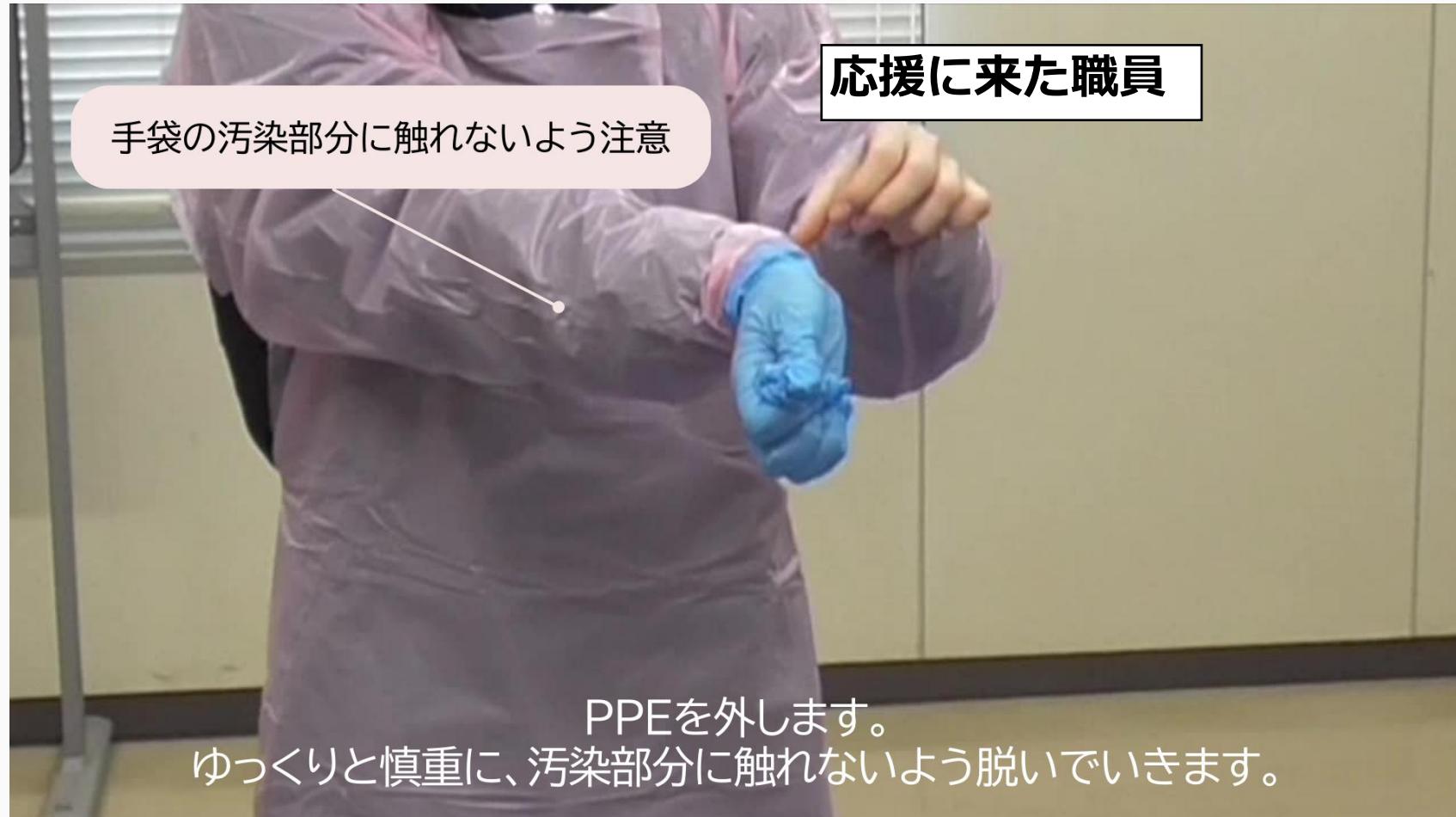
⑯

ガウンを脱ぐ



②〇

補助者も手袋→ガウンの順で脱ぐ



21

ゴミ袋を閉じる

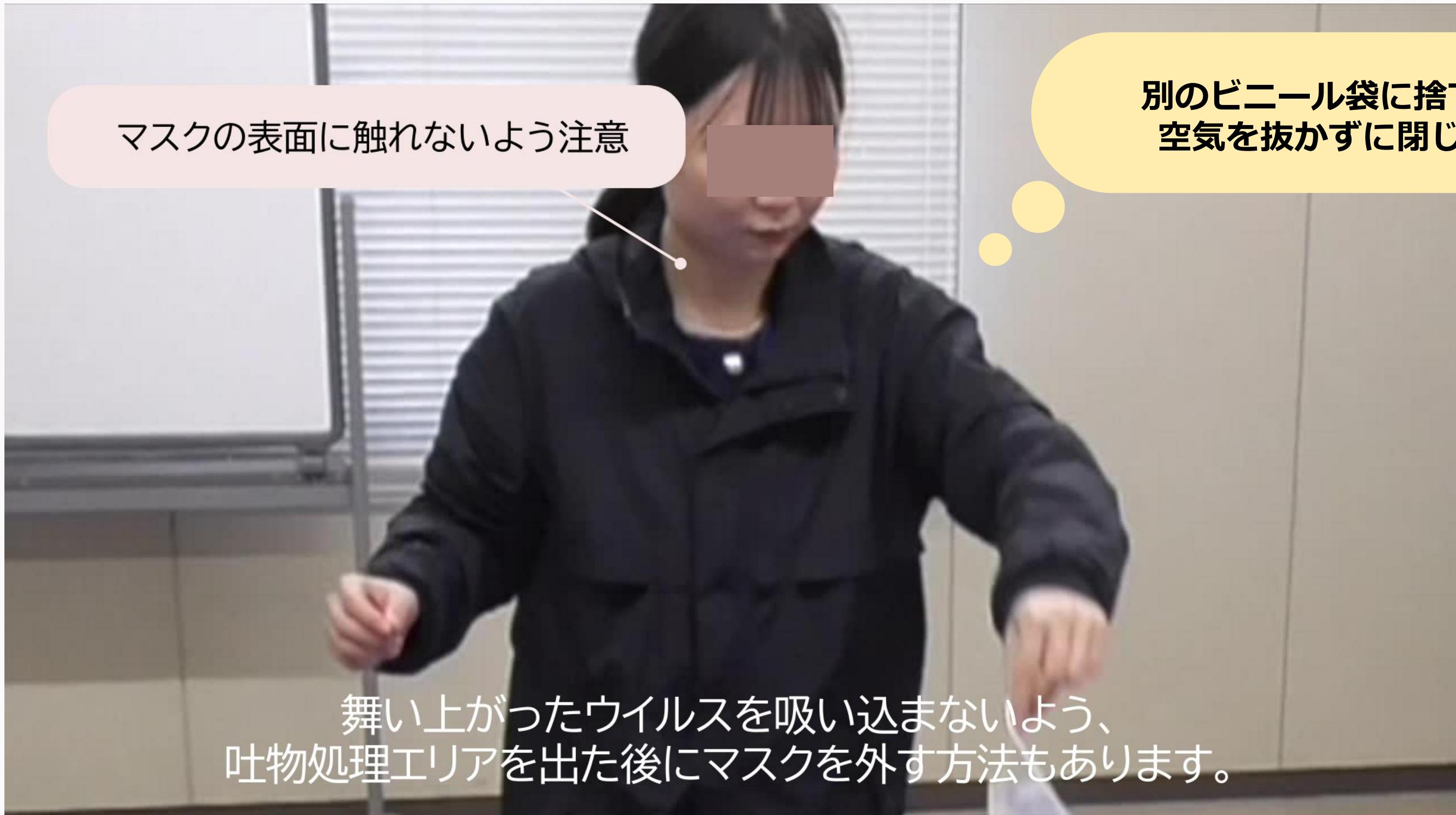


ビニールの内側に触れないように
してゴミ袋の口をしばる

廃棄するまでの間、
蓋付きのゴミバケツに入れて
人通りの少ない場所で保管

②2

マスクを脱ぐ



②3

手を洗う



最後にしっかりと手洗いをします。

ここまでが吐物処理です！

吐物処理後、しばらく窓を開け、十分な換気を行います。

紹介した処理方法は一例です。

各施設それぞれのやり方についても、意見交換で共有してみましょう。

感染防止の基本を守り、統一した処理手順ができることが大切です！